

地域密着型金融を実践し 地域の活性化に取り組んでいます。

当金庫では、平成17年8月に策定した「地域密着型金融推進計画（平成17年度～18年度）」の実施結果を踏まえ、計画期間終了後も引き続き「地域経済活性化の支援」に向けて、地域密着型金融の一層の推進に取り組んでいます。

平成20年度における主な取組実績とその評価、今後の課題は次のとおりです。

1. 中小企業のニーズに適した資金供給手法の徹底【現下の経済情勢を踏まえた取組み】

（1）中小企業金融の円滑化に積極的に取組むため、「事業を円滑に行うための融資」を実施

（取組実績）

昨秋のリーマンショック後の実体経済の急激な落ち込みによる取引先中小企業の資金繰り悪化に対して、現下の経済情勢を踏まえた取組みとして、企業活動継続のため、不足資金を積極的に供給いたしました。

（評価、課題）

平成20年11月から平成21年3月の実行は519件5,996百万円で、これに伴う一般貸倒引当金の積み増し額は94百万円となりました。なるべく借入に頼らないとされる中小企業が多く、実行金額は多くありませんが、地域の中小企業の資金繰り不安感は多少取り除けたものと認識しています。当金庫としては今後も企業の資金繰り改善のための資金需要に対して積極的に応じる方針です。

（2）不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

スコアリングモデルを活用した融資を積極的に推進しています。具体的な融資商品の取扱実績につきましては、次のとおりです。

商品内容	平成21年3月末取扱実績(残高)	
コベナンツを活用した融資 <small>(注1)</small>	1件	1百万円
スコアリングモデルを活用した融資 <small>(注2)</small>	67件	1,560百万円

(注1) 売上高等の財務内容を条件とし、金利と連動した商品です。(商品名「くれしんコベナンツ付ローン」)

(注2) 広島県信用保証協会との提携商品で、当金庫と保証協会が保有する信用リスク評価システムを活用した商品です。(商品名：「ブランド」・「スーパーブランド」)

2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

（1）創業・新事業支援

● NPO法人設立・支援による創業・新事業支援

（取組実績）

当金庫が全面協力するNPO法人「アクティブベースくれ」において、地域での創業・新事業に対し、15百万円の助成金を交付いたしました。(上期募集時は応募総数17先・助成先9先・総額9百万円、下期募集時は応募総数17先・助成先7先・総額6百万円)

また、これまでの助成先を対象とした「アクティブクラブ」については、平成20年度中2回の会合を開催し、助成先同士の意見交換・交流の場を設けました。



(評価、課題)

助成先16先に総額15百万円（前年度からの累計では44先、総額45百万円）の助成金を交付し、助成後の組織化についても支援したことにより、創業・新事業支援を図れたものと認識しています。また、こうした取組みが評価され、平成21年2月に「平成20年度地域密着型金融推進会議」において中国財務局より顕彰を受けました。今後、こうした活動を地域へ更にPRしていくとともに、助成金の交付だけでなく、当金庫との連携によるサポートを充実させていきたいと考えています。



写真提供：NHK

なお、当金庫が行っている創業・新事業支援融資の実績は、次のとおりです。

創業・新事業支援融資実績	平成21年3月末取扱残高	27件	113百万円
	うち平成20年度実行	9件	42百万円

(2) 経営改善支援**●企業先への相談機能強化による地域経済活性化支援****(取組実績)**

平成20年度は経営支援対象先を17先とするとともに、「経営向上パワーアップサポート」により、地域全体の事企業を対象に経営改善計画書の策定支援、予算・実績管理、経営相談、資金繰り改善等、事企業の経営向上・改善への取組みを支援しました。また、昨今の経済環境悪化に伴う事企業の資金繰りに関する相談においては、休日に臨時相談窓口を設置し、事企業の年末資金や期末資金に対する相談に対応いたしました。

(評価、課題)

経営改善への取組みについては、経営革新計画の取得に関するアドバイスや手続支援を2先実施しました。今後も事企業が抱える問題やニーズをすばやくキャッチし、対応していきたいと考えています。

臨時相談窓口の設置については、相談実施5日間のうち相談件数は5件でした。今後も中小企業を取り巻く経済環境により設置が必要であると判断される場合には、PRを強化し迅速な対応を行えるよう取組んでまいります。

なお、経営改善支援の取組みにより、平成20年度にお取引先の債務者区分が改善した実績は、次のとおりです。

(単位：先数)

債務者区分	先数 (平成21年 4月当初)	うち 経営改善支 援取組先数		経営改善支援 取組率	債務者区分 改善率	再生計画 策定率	
		Bのうち 期末に債務者 区分が改善 した先数	Bのうち再 生計画を策 定した先数				
	A	B	C	D	B/A	C/B	D/B
要注意先	812	79	17	23	9.7%	21.5%	29.1%
破綻懸念先	125	4	2	2	3.2%	50.0%	50.0%
実質破綻先	123	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
合計	1,060	83	19	25	7.8%	22.8%	30.1%

(注) 1. 先数は取引先企業（個人事業主を含みます）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでおりません。

2. 「再生計画を策定した先数D」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCCの支援決定先」＋「当金庫独自の再生計画策定先」です。

(3) 事業承継**●中小企業再生支援協議会との連携による再生支援****(取組実績)**

永年にわたり地域の発展に貢献してきた企業（ホテル業）が業績の低迷、設備投資に起因する債務が多額となり窮境な経営環境に陥っていたため、過剰債務の見直しを含めた事業再生を行うべく、広島県中小企業再生支援協議会に再生計画策定支援を依頼し、取組みを開始いたしました。

(評価、課題)

今回の再生支援先においては財務内容の改善が図られ、設備更新、新規設備投資へ取組むことが可能となりました。今後、専門機関の活用による再生案件等を広く実施していくとともに、庫内にノウハウを蓄積して効果的かつ円滑に実施できる体制を整備してまいります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

● ビジネスマッチング機能の強化、企業の全国展開支援

(取組実績)

ビジネスマッチング機能を強化するため、平成20年4月より情報誌「くれしんビジネスマッチング」を発行し、新たなビジネスマッチングサービスを開始いたしました。

また、企業の全国展開および県外での販路拡大を支援するため、平成20年10月に大規模商談会「第22回東京ビジネスサミット」への団体出展を行いました。

(評価、課題)

「くれしんビジネスマッチング」は、平成20年4月の取組開始から1年間で20社を掲載し、これまで9件の問い合わせがあり、3件が取引成立となりました。今後更なるサービス向上が必要と考えています。

東京ビジネスマッチングの出展では、1社当たり平均50枚以上の名刺を交換、大手企業や全国の中小企業との商談により、ビジネスマッチング機能の強化を図ることができました。引き続き積極的に取組んでまいります。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

● 第3回信用金庫合同ビジネスフェアの開催による地域活性化への寄与

(取組実績)

平成20年11月12日(木)、広島県立広島産業会館東西展示館において、県下4信用金庫合同でビジネスフェアを開催し、当金庫からは61社3大学に出展いただき、商談件数526件のうち32件の商談が成立いたしました。また、商談が継続しているものは92件となっています。(平成21年4月末現在)

(評価、課題)

今回のビジネスフェアには11,556名の方々にご来場いただき、皆さまのビジネスチャンスの拡大に寄与できたものと考えています。今後は、より広域なマーケット（中国地区あるいは全国）における異業種交流の場を提供できるよう尽力いたします。



● 産学連携による地域貢献・企業支援

(取組実績)

平成20年6月、広島文化学園大学（旧呉大学）と当金庫との間で「連携・協力に関する協定書」の締結を行いました。この協定は緊密かつ組織的な連携・協力体制を整備することにより、双方が保有する情報や経験等を用い、教育・研究面の質的向上及び地域社会への貢献、地域企業の課題解決に向けて産学連携の実現を図ることを目的としています。

(評価、課題)

産学連携の一環として、10月から開講したオープンカレッジ（FP入門講座）に当金庫職員を講師として派遣し、全15回の講座を担当しました。この講座には31名の方が参加されました。今後も教育面に加え、連携の更なる効果の増進に向けて取組んでまいります。

